

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ProgrammingDay仁保		
○保護者評価実施期間	2024年12月28日		2025年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		2025年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・1対1の個別支援が確立されている。	・児童の利用時間が重ならないように、配置を考慮している。	・4月以降利用、利用者数が増えることが予想されるが、配置を考えて支援を行っていききたい。
2	・個別支援であるが、職員間で児童の支援について相談できている。	・定期的なミーティングや日々の会話で、支援をチームで考える工夫をしている。担当職員では思いつかない支援アイデアに気付くことができる。	・今後職員が増えても継続して取り組んでいきたい。
3	・HUG(放課後等デイサービスの施設運営システム)を導入したことで情報の伝達の抜けが少なく、必要な情報が利用者へ専用マイページを通じて伝達できている。	・専用マイページで閲覧できる情報が必要なものだけになるように整理している。 ・見方、使い方を説明している。	・HUGには様々な機能があるので、順次機能を公開し、利便性を向上させていきたい。
4	・保護者アンケート「こどもは通所を楽しみにしていますか」の項目が100%となったため、この数字を今後も維持したい。	・普段のかかわりを通じて児童/保護者ともコミュニケーションの機会を積極的に設けている。 ・利用者のニーズを聞き取り、ワクワクして活動できる活動内容を模索している。職員間で活動ネタのアイデアを出し合っている。	・今後も流行を取り入れつつ、継続して今の取り組みを行っていききたい。
5	・IT系に強い職員が多いので、利用者の生活上の困りごとをITで解決できないか提案することができる。	・普段のかかわりを通じて児童/保護者の困り事、相談事を聞くようにしている。 ・ITやタブレット活用法の研修に参加したり、学校と連携を行う際、学校のタブレット活用法など聞き取っている。	・学校教育情報化推進計画など、学校のIT導入計画についても知識を深めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との連携、地域に開かれた事業運営	・利用者ニーズに地域との連携に関する声がないので、意図的に機会を設けていなかった。 ・地域の研修情報について発信は行っているが、利用者が望んでいる情報ではないかもしれない。利用者の「地域との連携」に関する考え方を聞き取れていなかった。	・開設当初、近隣住人と施設(保育園、放課後児童クラブ等)へ従業員から挨拶へ行っった。定期的に挨拶周りを行って、地域との繋がりへと繋げていきたい。 ・保護者アンケートでは「必要としていない」との声があるが、それぞれのニーズに応じて提案できるように地域の取り組みについて情報収集を行う。 ・利用者との会話で地域との連携についてどのようなことを望んでいるか質問してみる。
2	・保護者支援(家族に対して家族支援プログラムや家族等の参加できる研修)	・2024年8月に保護者向け研修を開催していたが、以降に契約いただいた方には、案内できていなかった。	・定期的開催していることを周知すると共に、過去の活動状況を保護者へ情報発信する。

3	・保護者、従業員含め非常事態時の対応に関する周知	・2024年6月に避難訓練を従業員で開催していたが、以降に契約頂いた方には、周知できていなかった。 ・教室内に避難訓練、経路等の掲示物が利用者が閲覧できる場所に掲示できていなかった。 ・従業員向けとして、開業当初のメンバーには周知ができていたが、新規入職者への周知が足りていない部分があった。	・利用者に向けて非常事態時のマニュアルの周知、教室内に避難経路の掲示を行う。訓練を実施した際は、行った旨を周知する。 ・新規に入職した従業員に非常事態時の対応に関する周知を行っていない部分があった。このことから、新規入職者へ業務を説明する際のチェックリストを整備する。また、年2回を目標に定期的に訓練を行い、防災に関する意識を高める。
---	--------------------------	--	--